

各 位

2025 年 10 月 10 日
KNT－C Tホールディングス株式会社
総務 CSR 部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和 7 年 8 月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 126.2%、学生団体は同 83.4%、団体旅行合計では同 99.6%となった。企画旅行については前年比 100.3%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 97.6%と前年度を下回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 54.8%、学生団体は同 100.5%、団体旅行合計では同 79.9%となった。企画旅行については前年比 122.6%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 100.6%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 83.3%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 8 月の総取扱額は、前年比 98.0%と前年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業コンベンションの取扱いが増加し、更に万博関連の取扱いも加わり、一般団体は 126.2%と前年度を上回った。

学生団体はクラブの合宿・遠征および宿泊研修の取扱いが伸び悩み、学生団体旅行合計で 83.4%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 100.3%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、万博の影響がある関西方面の販売は好調も、他方面の宿泊旅行が伸び悩み、前年比 75.8%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、万博の影響がある関西方面が好調に推移し、前年比 109.1 %となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 97.6%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、企業コンベンションや海外見本市などの視察旅行の取扱いが増加するも、前年に開催された大型スポーツイベントの取扱いがなくなったため、前年比 54.8%となった。学生団体は修学旅行が伸び悩むも、語学研修の取扱いが増加し、前年比 100.5%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 79.9%となった。

海外企画旅行については、前年比 122.6%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、香港が前年並みも、他方面が伸び悩み、前年比 72.6%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比 126.3%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 100.6%となった。

3. 訪日旅行

7 月の日本における災害発生の予言が 8 月にも影響をおよぼしたことに加え、日本の猛暑による訪日控えなどの影響により、主に個人旅行が伸び悩み、前年 83.3%となった。

以 上